

桂川嵐山地区左岸溢水対策



新日下川放水路完成式



国営常陸海浜公園



山陰道 大田・静岡道路



室蘭港祝津絵鞆地区



国土交通省
令和6年度

国土技術研究会

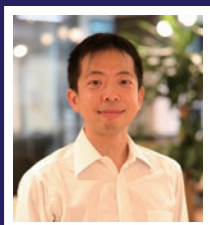
開催日程

2024.12/5(木)・12/6(金)

参加無料

※会場参加・Web聴講には、事前申込が必要です

特別講演



開催日程：12/6(金) 15:00 ～ 16:00

講演講師：柳原 尚史 様

株式会社 Ridge-i 創業者 代表取締役社長
第6回内閣府主催 宇宙開発利用大賞 国土交通大臣賞／東証グロース企業

講演テーマ

「衛星 × AI で見守るインフラ：AI ベンチャーの苦労と挑戦」

《会場》

国土交通省（中央合同庁舎2号館・3号館）

東京都千代田区霞が関2丁目1-2、1-3

自宅から視聴可！オンラインでも配信します



職人の背中



阿蘇立野ダムの試験湛水



令和6年能登半島地震の応急復旧（道路啓開）



北上川のかまちづくり



首里城正殿本体の復元

主催：



国土交通省

参加
方法

事前申込の手続き・課題論文・プログラム詳細
最新情報についてはホームページをご覧ください。



特別 講演

『衛星 × AI で見守るインフラ：AI ベンチャーの苦労と挑戦』

【日時】12月6日（金）15:00～16:00



株式会社 Ridge-i
創業者・代表取締役社長

やなぎはら たかし
柳原 尚史 様

●プロフィール

2016 年、AI 技術を活用したビジネス・社会課題の解決のために株式会社 Ridge-i を創立。23 年 東証グロース市場に上場。衛星データの活用に関する宇宙・衛星開発の公職にも複数関わっている。プライベートは 4 児のパパで、趣味はトレイルランニング（富士山 1 日 3 往復、UTMB 完走など）。

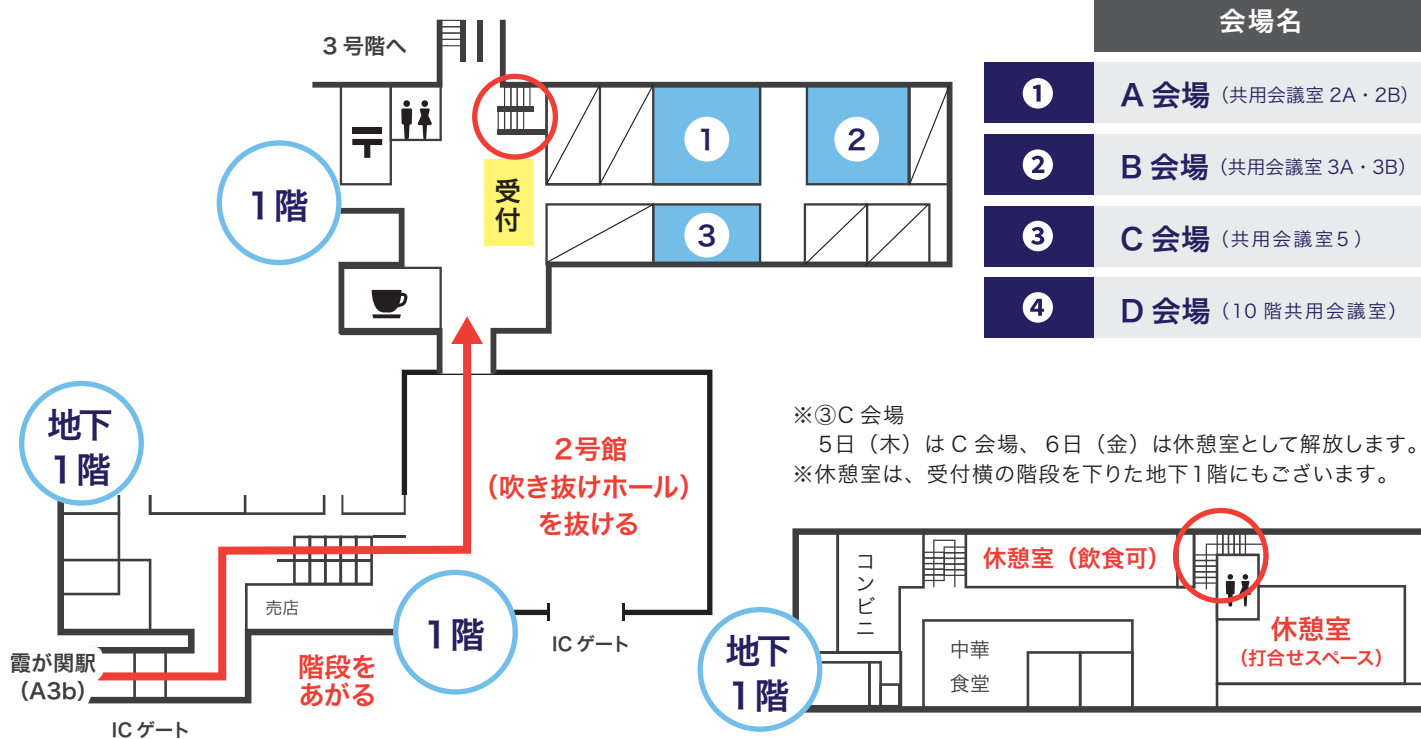
●主な経歴

早稲田大学理工学部卒業。NTT コミュニケーションズに入社し、新規事業企画に携わる。その後 HSBC、ブラック ロック・ジャパンなど大手金融機関にて、高頻度取引・証券リスク管理システムなどを構築。最先端の技術・理論をビジネスに活用する提案力と実現力が強み。

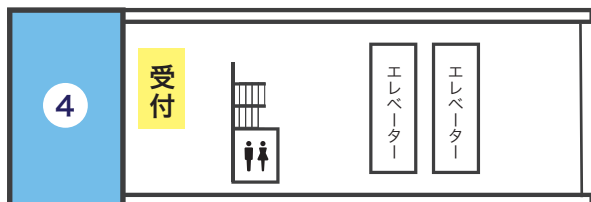
会場案内

※特別講演は、中央合同庁舎3号館 10 階で行います。収容人数の関係上、事前参加申込をお願いいたします。

●12月5日（木）・6日（金） 2号館低層棟会議室



●12月6日（金）15:00～ 3号館 10階共用会議室（D会場）【特別講演・表彰式】



＜3号館 10階へお越し頂く際の注意事項＞

- ・10階に止まるエレベーターは限りがあります。
- ・多くの方が一斉に移動することが想定されますので、時間に余裕をもって移動頂きますようお願いいたします。
- ・特別講演は収容人数の関係上、入場を制限する可能性があります。

受付について

発表者と CPD 申請をされた方のみ受付をお願いします。
発表者は、ご自身の発表セッションが始まる 15 分前までに受付をお済ませください。

- ・12月5日（木）：2号館低層棟会場（A-C会場）入口にて、9:45から受付開始
- ・12月6日（金）：自由課題 / 2号館低層棟会場（A-C会場）入口にて、9:15から受付開始
- ・12月6日（金）：特別講演 / 3号館 10階特別共用会議室（D会場）入口にて、14:00から受付開始

令和6年度 国土交通省 国土技術研究会 プログラム

1日目(12月5日(木))				2日目(12月6日(金))			
	研究発表会場				研究発表会場		特別講演会場
会場	A 2号館共用会議室2A・2B	B 2号館共用会議室3A・3B	C 2号館共用会議室5	会場	A 2号館共用会議室2A・2B	B 2号館共用会議室3A・3B	C 2号館共用会議室5 D 3号館10階共用会議室
区分	○自由課題 ・一般部門(安全・安心Ⅰ) ・一般部門(安全・安心Ⅱ) ※国土技術開発賞受賞 技術報告含む	○自由課題 ・イノベーション部門Ⅰ ・一般部門(活力) ※SBIR建設技術研究開発 助成制度成果報告および 国土技術開発賞受賞 技術報告含む	○自由課題 ・アカウントビリティ部門 ・イノベーション部門Ⅱ ※SBIR建設技術研究開発 助成制度成果報告および 国土技術開発賞受賞 技術報告含む	区分	○自由課題 ・一般部門(安全・安心Ⅱ) ※SBIR建設技術研究開発 助成制度成果報告および 国土技術開発賞受賞 技術報告含む ○各局等提案課題	○自由課題 ・一般部門(活力) ※SBIR建設技術研究開発 助成制度成果報告含む ○各局等提案課題	休憩スペース ※14:00まで ○特別講演 ○表彰式
9:00				9:00			
10:00	9:45～ 受付開始				9:15～ 受付開始		
				10:00	A6 9:45～10:45 一般部門 (安全・安心Ⅱ) ・審査課題:3本 ・報告課題:1本	B6 9:45～10:45 一般部門(活力) ・審査課題:4本	
11:00	A1 10:15～12:00 一般部門 (安全・安心Ⅰ) ・審査課題:6本 ・報告課題:1本	B1 10:15～12:00 イノベーション部門Ⅰ ・審査課題:6本 ・報告課題:1本	C1 10:15～12:00 アカウントビリティ 部門 ・審査課題:7本	11:00	休憩(15分)	休憩(15分)	
12:00				12:00	A7 11:00～12:00 一般部門 (安全・安心Ⅱ) ・審査課題:3本 ・報告課題:1本	B7 11:00～12:00 一般部門(活力) ・審査課題:3本 ・報告課題:1本	
13:00				13:00	A8 13:00～14:00 各局等提案課題 ・2本	B8 13:00～14:00 各局等提案課題 ・2本	
14:00	A2 13:00～14:15 一般部門 (安全・安心Ⅰ) ・審査課題:4本 ・報告課題:1本	B2 13:00～14:15 イノベーション部門Ⅰ ・審査課題:5本	C2 13:00～14:15 イノベーション部門Ⅱ ・審査課題:4本 ・報告課題:1本	14:00			14:00～ 受付開始
15:00	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)				
	A3 14:30～15:45 一般部門 (安全・安心Ⅰ) ・審査課題:5本	B3 14:30～15:45 イノベーション部門Ⅰ ・審査課題:4本 ・報告課題:1本	C3 14:30～15:45 イノベーション部門Ⅱ ・審査課題:4本 ・報告課題:1本	15:00			15:00～16:00 特別講演
	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)				
16:00	A4 16:00～17:00 一般部門 (安全・安心Ⅱ) ・審査課題:4本	B4 16:00～17:00 一般部門(活力) ・審査課題:4本	C4 16:00～17:00 イノベーション部門Ⅱ ・審査課題:4本	16:00			16:05～16:35 表彰式
17:00	休憩(15分)	休憩(15分)	休憩(15分)				16:35～16:50 受賞者記念撮影
	A5 17:15～18:15 一般部門 (安全・安心Ⅱ) ・審査課題:4本	B5 17:15～18:15 一般部門(活力) ・審査課題:4本	C5 17:15～18:15 イノベーション部門Ⅱ ・審査課題:4本	17:00			
18:00				18:00			

令和6年度 国土交通省 国土技術研究会 プログラム
1日目(12月5日(木))

A会場							
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属	発表者名
一般部門 (安全・安心Ⅰ)	A1	1	審査課題	10:15～10:30	山陽道トンネル火災事故に対する交通マネジメントの取り組みについて	近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 調査課	高松 晋平
		2		10:30～10:45	国道32号 高知橋の補修・補強工事報告	四国地方整備局 土佐国道事務所 道路保全課	島村 佳汰
		3		10:45～11:00	トンネル内の自転車通行用照明の整備について	九州地方整備局 大分河川国道事務所 計画課	兒玉 威龍
		4		11:00～11:15	名古屋市大須地区における自転車通行空間整備事業～地元住民や関係機関との合意形成の取り組み～	中部地方整備局 名古屋国道事務所 交通対策課	柳 倅貴
		5		11:15～11:30	国道506号小祿道路事業における多軸台車を活用した上部工一括撤去事例	沖縄総合事務局 南部国道事務所 工務課	伊佐 奨真
		6		11:30～11:45	滞筋の平均河床を対象とした数値計算－河川橋梁の洗掘被害を未然に防ぐために－	国立研究開発法人土木研究所 河道保全研究グループ	竹崎 奏詠
		7		11:45～12:00	【国土技術開発賞受賞技術報告】 後方回転・自走式手延機解体装置 ～重機が使用できない場所での手延機解体～	株式会社横河ブリッジ 大阪計画部 シニアマネージャー	加地 敦志
	A2	8	審査課題	13:00～13:15	阿蘇立野ダムの特性に配慮した試験湛水について	九州地方整備局 熊本河川国道事務所 河川管理課	藤村 晋吾
		9		13:15～13:30	踏切道における誘導表示等の設置方法及び構造に関する実験	国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路交通安全研究室	久保田 小百合
		10		13:30～13:45	防波堤の気候変動適応策に関する検討	国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾施設研究室	神保 壮平
		11		13:45～14:00	大正関東地震(1923)の津波発生メカニズムにおける海底地すべりの支配的影響について	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所海洋利用研究領域 海洋利用研究グループ	村田 一城
		12		14:00～14:15	【国土技術開発賞受賞技術報告】 フラップゲート式可動防波堤の開発	カナデピア株式会社 開発本部 技術研究所 基盤技術研究センター 流体グループ グループ長	木村 雄一郎
	A3	13	審査課題	14:30～14:45	鋼製砂防堰堤を対象としたUAV自律飛行による点検調査について	北海道開発局 室蘭開発建設部 苫小牧砂防海岸事務所	岩田 清徳
		14		14:45～15:00	TEC-FORCE活動支援アプリについての提案	東北地方整備局 郡山国道事務所 調査課	糸屋 玄貴
		15		15:00～15:15	災害対応業務の効率化について ～横浜国道事務所統合管理システムの導入～	関東地方整備局 企画部 情報通信技術課	内藤 智子
		16		15:15～15:30	防災カルテ点検における着目すべき落石の大きさの分析	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地基礎技術研究グループ	坂本 尚弘
		17		15:30～15:45	木質空間の火災性状の把握に向けた火災実験結果とその性状予測	国立研究開発法人建築研究所 防火研究グループ	野秋 政希

A会場							
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属	発表者名
一般部門 (安全・安心Ⅱ)	A4	1	審査課題	16:00～16:15	令和6年能登半島地震TEC-FORCE派遣における災害調査のDX～UAVを用いた三次元点群データ取得とその情報共有について～	九州地方整備局 福岡国道事務所 用地第二課	宮崎 優真
		2		16:15～16:30	火山噴火時の緊急調査プロセスに関するDXの推進	九州地方整備局 九州技術事務所 火山防災減災課	福永 みり
		3		16:30～16:45	気候変動による非超過確率1/10の渇水流量の発生頻度の変化の計算	国土技術政策総合研究所 河川研究部 水循環研究室	西村 宗倫
		4		16:45～17:00	電子国土基本図の3次元化に向けた取組	国土地理院 基本図情報部 地図情報技術開発室	長野 玄
	A5	5	審査課題	17:15～17:30	平成30年北海道胆振東部地震後の厚真町における緊急対応タイムラインの取り組みについて	北海道開発局 函館開発建設部 今金河川事務所 美利河ダム管理支所	大川 紘
		6		17:30～17:45	能登半島地震の道路啓開における初動対応の記録～半島地域の道路特性を踏まえて～	北陸地方整備局 能登復興事務所	田中 義太郎
		7		17:45～18:00	河川護岸の変状や空洞化対策の検討について	中国地方整備局 太田川河川事務所 管理課	川本 優汰
		8		18:00～18:15	滝沢ダム放流設備遠隔操作の試行について	独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所 第一管理課	大崎 愛

国土技術開発賞とは

技術開発者に対する研究開発意欲の高揚並びに建設技術水準の向上を図ることを目的として、建設産業に係わる優れた新技術を表彰するものです。
また、中小建設業者、専門工事業者等の創意工夫やアイデアにあふれた技術を、特別賞「創意開発技術賞」として表彰しています。

主催：一般財団法人 国土技術研究センター、一般財団法人 沿岸技術研究センター
後援：国土交通省

令和6年度 国土交通省 国土技術研究会 プログラム
1日目(12月5日(木))

B会場							
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属	発表者名
イノベーション部門 1	B1	1	審査課題	10:15～10:30	秋田港におけるトラック自動運転技術の実証実験について	東北地方整備局 秋田港湾事務所 保全課	三上 煌央
		2		10:30～10:45	OD交通量の動画像から見る社会課題の把握について	北陸地方整備局 長岡国道事務所	佐谷 一樹
		3		10:45～11:00	令和5年度トンネル点検業務で活用した「隧道SfM/MVS技術」の計測結果と課題についての一考察	中国地方整備局 松江国道事務所 管理第二課	金山 直樹
		4		11:00～11:15	アスファルト舗装の長寿命化に向けた取組	東北地方整備局 仙台河川国道事務所 道路管理第二課	松浦 友香
		5		11:15～11:30	都市問題の解決に向けたスマートシティ化に関する研究	国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市計画研究室	安藤 亮介
		6		11:30～11:45	都市の暑熱対策における人流データの活用	国立研究開発法人建築研究所 環境研究グループ	熊倉 永子
		7	報告課題	11:45～12:00	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】 3Dデジタル技術による最適化設計を用いた非溶接橋梁用ブラケットの研究開発	ヒノデホールディングス株式会社 ヒノデグローバルイノベーションセンター 技術開発グループ マネージャー	黒川 貴大
	B2	8	審査課題	13:00～13:15	デジタル技術等を活用した河川管理高度化への挑戦 ～全国初の河川系DX出張所～	関東地方整備局 利根川下流河川事務所 管理課	藤巻 香祐
		9		13:15～13:30	庄内川における河道内樹木の管理に関する取組について	中部地方整備局 庄内川河川事務所 管理課	坂野 正弥
		10		13:30～13:45	和歌山工業高等専門学校と連携した土砂災害防災学習教材の開発	和歌山県 土砂災害啓発センター	岐山 雄亮
		11		13:45～14:00	AIを用いた日吉ダム低水管理支援システムの構築	独立行政法人水資源機構 日吉ダム管理所	林 良真
		12	審査課題	14:00～14:15	BIM/CIM導入・運用を支援するチャットボットの役割と展望	四国地方整備局 四国技術事務所 品質調査課	日詰 太郎
	B3	13		14:30～14:45	山間部でDX推進！ ～砂防施設点検における長時間ドローン等の活用～	中部地方整備局 越美山系砂防事務所 工務課	安田 真翔
		14		14:45～15:00	吸い出しによる空洞陥没の二層フィルターを用いた復旧及び再発防止対策について	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所地盤研究領域 動土質研究グループ	工代 健太
		15		15:00～15:15	下新川海岸における離岸堤工事のICT施工導入効果	北陸地方整備局 黒部河川事務所	大谷内 啓丞
		16		15:15～15:30	海峡部低位置道路照明設備の採用及び試験施工	本州四国連絡高速道路株式会社 保全部電気通信課	堀川 峻
		17	報告課題	15:30～15:45	【国土技術開発賞受賞技術報告】 マンホール鉄蓋取替工法（セイフティーフラット工法）	株式会社シー・エス・ケエ 取締役工事部長	工藤 守

B会場							
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属	発表者名
一般部門 (活力)	B4	1	審査課題	16:00～16:15	道路施設等を活用した中継輸送実証実験について ～「生産空間」の暮らしと産業を支える物流の維持に向けて～	北海道開発局 建設部 道路計画課	角張 弘幸
		2		16:15～16:30	八戸港の利活用促進に向けた取り組み ～青森県（弘前）産 りんごのトライアル輸送～	東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所	古川 就一
		3		16:30～16:45	歩車混在空間への次世代モビリティ導入に向けた取組について	中国地方整備局 広島国道事務所 計画課	鳥取 美里
		4		16:45～17:00	コンパクトプラスネットワークの実現に向けて ～歩きたくなる魅力的なまちづくり～	九州地方整備局 建政部 都市整備課	高原 秀和
	B5	5	審査課題	17:15～17:30	国道357号多摩川トンネル浮島立坑工事のニューマチックケーソンの施工に向けた事前置換工法の導入	関東地方整備局 川崎国道事務所 工務課	鹿間 美咲
		6		17:30～17:45	洋上風力発電基地港湾整備における港湾工事の課題解決事例について	関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所 第一工務課	今泉 孔佑
		7		17:45～18:00	官民連携による亀の瀬地すべり対策インフラツーリズムの取組について	近畿地方整備局 大和川河川事務所	田尻 一郎
		8		18:00～18:15	土佐湾沿岸の海岸保全施設における気候変動適応策の検討結果	四国地方整備局 高知河川国道事務所 工務課	武田 侑大

SBIR建設技術研究開発助成制度とは

国や地域の諸課題(地球温暖化、社会インフラの老朽化、少子高齢化等)の解決に資するための技術開発テーマを国土交通省が示し、そのテーマに対し民間企業や大学等の先駆的な技術開発提案を公募し、優れた技術開発を選抜し助成する競争的資金制度です。
令和5年度に実施された研究開発等の成果について報告します。

令和6年度 国土交通省 国土技術研究会 プログラム
1日目(12月5日(木))

C会場						
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属 発表者名
アカウント ビリティ部 門	C1	1		10:15～10:30	地域活性化に向けた地方とバスタの結びつき強化策 ～産学官連携によるプロジェクト～	関東地方整備局 企画部 企画課 鍋島 未紅
		2		10:30～10:45	「ADRI」サイクルで行う広報研修について ～コミュニケーションから生まれる新たな建設の魅力～	長野県 建設部 都市・まちづくり課 飯田 真子
		3		10:45～11:00	堤防技術研究会の取り組みについて	近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 北川 真一
		4	審査課題	11:00～11:15	真備緊急治水対策プロジェクトにおけるソフト対策	中国地方整備局 福山河川国道事務所 道路管理課 福島 直也
		5		11:15～11:30	成瀬ダム見学会を通じたインフラ整備分野の魅力発信・人材育成	東北地方整備局 成瀬ダム工事事務所 工事課 浅利 太陽
		6		11:30～11:45	流域治水の普及に向けた検討と広報資料「流域戦隊 テスイレンジャー」 を活用した広報活動を踏まえた考察	東北地方整備局 北上川下流河川事務所 流域治水課 及川 日花梨
		7		11:45～12:00	村民あげての新日下川放水路完成式について	四国地方整備局 高知河川国道事務所 総務課 下元 利光

C会場						
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属 発表者名
イノベー ション部門 Ⅱ	C2	1		13:00～13:15	供用中かつ利用頻度の高い岸壁における予防保全工事の実施について ～大阪港大正内港地区岸壁改良～	近畿地方整備局 大阪港湾・空港整備事務所 保全課 中川 元気
		2		13:15～13:30	玉島維持出張所におけるDXの取り組みについて	中国地方整備局 岡山国道事務所 管理第二課 伊藤 大悟
		3		13:30～13:45	BIM/CIM技術を用いた「事業情報プラットフォーム」の試験運用	四国地方整備局 松山河川国道事務所 調査課 伊藤 理愛
		4		13:45～14:00	国土交通データプラットフォームにおける電子成果品のさらなる活用のため のメタデータ自動作成に関する研究	国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター 社会資本情報基盤研究室 夜久 将司
		5	報告課題	14:00～14:15	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】 コンクリート床スラブの厚さを半減する環境配慮型床振動遮断メタマテリアルの開発	愛媛大学 大学院理工学研究科 機械工学講座 教授 水上 孝一
	C3	6		14:30～14:45	基礎処理工における現場立会のビデオオンデマンド化について	東北地方整備局 成瀬ダム工事事務所 工事課 徳永 源造
		7		14:45～15:00	DX技術を用いた現場確認の効率化について	群馬県 県土整備部 都市計画課 道路交通計画室 西潟 将利
		8		15:00～15:15	予防保全型道路メンテナンスに向けた地域支援等の取り組みについて	中部地方整備局 中部道路メンテナンスセンター 技術第一課 鈴木 健文
		9		15:15～15:30	Air-des工法による液状化対策の試験施工 ～全国初となる河川堤防への適用性検証～	四国地方整備局 徳島河川国道事務所 流域治水課 橋田 水輝
		10	報告課題	15:30～15:45	【国土技術開発賞受賞技術報告】 地盤改良工法の自動打設 システム ～GeoPilot-AutoPile【ジオパイロット・オートパイル】～	株式会社不動産テトラ 地盤事業本部 技術部部长 伊藤 竹史
	C4	11		16:00～16:15	三国川ダムにおけるAIを用いた流入量予測システムの構築について	北陸地方整備局 三国川ダム管理所 垣田 駿斗
		12		16:15～16:30	味噌川ダムにおけるドローダウン開始時期の早期化による水力発電電力量増大の取組み	独立行政法人水資源機構 味噌川ダム管理所 田尻 春満
		13		16:30～16:45	福地ダム上流洪水吐法面における災害復旧の対応	沖縄総合事務局 北部ダム統合管理事務所 流域治水課 砂川 尚也
		14		16:45～17:00	SIPにおけるダム群連携最適操作シミュレータの開発	独立行政法人水資源機構 経営企画部 国際課 松橋 輝明
	C5	15		17:15～17:30	吉田川河道掘削工事 事業全体の生産性向上に向けた取組	東北地方整備局 北上川下流河川事務所 事業対策課 羽賀 毅
		16		17:30～17:45	時短BIM／CIM～DXの取り組み	九州地方整備局 本明川ダム工事事務所 工事課 田中 祐一
		17		17:45～18:00	衛星測位による迅速かつ容易な標高決定の実現に向けた取組	国土地理院 測地部 物理測地課 小川 拓真
		18		18:00～18:15	堤防草刈機の運転自動化を支援するための周囲監視装置の開発	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地機械技術チーム 山崎 貴志

令和6年度 国土交通省 国土技術研究会 プログラム
2日目(12月6日(金))

A会場							
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属	発表者名
一般部門 (安全・安心Ⅱ)	A6	9	審査 課題	9:45～10:00	鉄筋コンクリート造建築物の躯体改造技術に関する研究	国立研究開発法人建築研究所 構造研究グループ	中村 聡宏
		10		10:00～10:15	宅地擁壁の耐震性能評価手法の開発のための有限要素法に基づく数値解析モデルの構築	国立研究開発法人建築研究所 国際地震工学センター	的場 萌子
		11		10:15～10:30	琵琶湖後期放流時における瀬田川流量観測の高度化と実運用に向けた考察	近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 流域治水課	佐々木 彩華
		12		報告 課題	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】 水ガラスを用いた木質内装の木目が見える準不燃塗装仕上の開発	株式会社竹中工務店 技術研究所	杉田 敬太郎
	A7	13	審査 課題	11:00～11:15	道路管理の実務におけるDXの取組について 3次元点群データと統合型GISの活用	東京都 建設局 道路管理部 保全課	横山 隼佑
		14		11:15～11:30	那覇空港（A-7）誘導路改良工事について	沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所 空港工務課	山城 京大
		15		11:30～11:45	直轄国道におけるコンクリート舗装の追跡調査と設計法への示唆	国立研究開発法人土木研究所 道路技術研究グループ 舗装チーム	横澤 直人
		16		報告 課題	【国土技術開発賞受賞技術報告】 高耐久超低騒音舗装 ～損傷対策型小粒径ポラスアスファルト混合物の開発～	首都高速道路株式会社 技術部 技術推進課長	蔵治 賢太郎

A会場							
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属	発表者名
各局等 提案課題	A8	1		13:00～13:30	公共事業から発生するバイオマスの分野横断的な利用と課題 ～下水処理場を核として～	①国立研究開発法人土木研究所 先端材料資源研究センター (IMaRRC) 材料資源研究グループ ②神戸市建設局下水道部 ③西日本高速道路株式会社 技術本部 技術環境部 技術統括課 ④西日本高速道路株式会社 保全サービス事業本部 保全サービス事業部 保全課	①阿部 千雅 宮本 豊尚 高橋 啓太 ②児玉 かなな ③津田 優一 ④村上 俊之
		2		13:30～14:00	令和6年能登半島地震における道路盛土の被災から得た知見と今後の取組みについて	国立研究開発法人土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム	東 拓生

B会場							
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属	発表者名
一般部門 (活力)	B6	9	審査 課題	9:45～10:00	重要文化財 常願寺川砂防施設 に関する保存活用計画の策定に向けての取り組み	北陸地方整備局 立山砂防事務所	平口 昌樹
		10		10:00～10:15	トキの野生復帰及び情報発信に向けた施設整備における設計や施工時の取組と効果について	北陸地方整備局 営繕部 整備課	矢野 竜太郎
		11		10:15～10:30	沖縄管内のブルーカーボン形成及び活用方策の検討	沖縄総合事務局 港湾計画課	小野木 佑徳
		12		10:30～10:45	環境DNAによる一級水系河川での水生植物の検出可能性について	国立研究開発法人土木研究所 流域水環境研究グループ 流域生態チーム	槐 ちがや
	B7	13	審査 課題	11:00～11:15	少子高齢・人口減少社会における流雪溝の課題克服への取組	北海道開発局 札幌開発建設部	谷野 淳
		14		11:15～11:30	既存オフィスビル等のゼロエネルギービル(ZEB)化改修の促進に関する研究開発	国土技術政策総合研究所 住宅研究部 建築環境研究室	宮田 征門
		15		11:30～11:45	既設アスファルト舗装からコンクリート舗装へ修繕する際に凍上対策として用いる断熱工法の設計・施工手法の提案	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地保全技術研究グループ 寒地道路保全チーム	大場 啓汰
		16		報告 課題	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】 断熱効果および遮熱効果を兼ね備えた環境対応型塗料の開発	名古屋大学大学院 工学研究科 有機・高分子化学専攻	竹岡 敬和

B会場							
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属	発表者名
各局等 提案課題	B8	3		13:00～13:30	「公共建築物におけるZEB事例研究」の作成 ～ZEB先進事例の調査・分析～	大臣官房官庁営繕部 設備・環境課 営繕環境対策室	高部 晃史
		4		13:30～14:00	国際海上コンテナの背後輸送におけるドライバー不足への対応	国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾計画研究室 関東地方整備局 港湾空港部 港湾高度利用調整官	安部 智久 古川 雄大

D会場			
15:00～16:00	【特別講演】	株式会社Ridge-i 代表取締役社長 柳原 尚史様 「衛星×AIで見守るインフラ:AIベンチャーの苦労と挑戦」	
16:05～16:35	【表彰式】		
16:35～16:45		受賞者記念撮影	

① 公共事業から発生するバイオマスの分野横断的な利用と課題 ～下水処理場を核として～

13:00~13:30
A会場

■ 発表者

①(国研)土木研究所 先端材料資源研究センター
(iMaRRC)

阿部 千雅、宮本 豊尚、高橋 啓太

②神戸市建設局下水道部
児玉 かな③西日本高速道路(株)技術本部
津田 優一西日本高速道路(株)保全サービス事業本部
村上 俊之

■ 概要等

道路、河川及び環境衛生等から発生する、刈草や剪定枝、生ごみ等のバイオマスは、そのまま捨てればただのゴミですが、上手く活用すれば有用な資源へと変わります。

その活用先の一つとして、下水道事業での活用があります。本発表では、下水処理場でのバイオマス活用に関する研究を紹介するとともに、実際に下水処理場で取り組んでいる事例も交えて発表します。



② 令和6年能登半島地震における道路盛土の 被災から得た知見と今後の取組みについて

13:30~14:00
A会場

■ 発表者

(国研)土木研究所 地質・地盤研究グループ
東 拓生

■ 概要等

令和6年能登半島地震では、能越自動車道等において、特に谷埋めの道路盛土に多数の被害が発生しました。本発表では、特に現場技術者を対象として、令和6年能登半島地震における被害の調査、分析、対策手法に関する研究等で得られた、谷埋め道路盛土の地震被害を抑制するための知見、日常的な維持管理における留意事項などについて発表します。



③ 「公共建築物におけるZEB事例研究」の作成 ～ZEB先進事例の調査・分析～

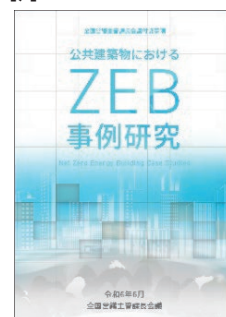
13:00~13:30
B会場

■ 発表者

大臣官房官庁営繕部 設備・環境課 営繕環境対策室
高部 晃史

■ 概要等

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、国・地方公共団体等では、公共建築物をZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)とするための取組が求められています。本発表では、公共建築物でZEBを実現した事例における有益な情報を収集し、分析・整理を行い、事例集として取りまとめたことについて報告します。



④ 国際海上コンテナの背後輸送におけるドライバー不足への対応

13:30~14:00
B会場

■ 発表者

①国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部
安部 智久②関東地方整備局 港湾空港部
古川 雄大

■ 概要等

2024年問題に起因するドライバー不足やカーボンニュートラルへの対応などから、港湾と荷主の拠点との間をつなぐ国際海上コンテナの背後輸送の効率化への必要性が高まっています。本発表ではこのような背後輸送の効率化に関しての最近の研究所における研究成果ならびに行政における取り組みを紹介し、今後の対応や課題について展望します。

海コンドライバー数の充足度	需要量 (人)	供給量 (人)	過不足 (人)	充足率
2018現況	9,000	9,000	0	0.0%
2030将来	9,900	8,000	-1,900	-19%

国総研による試算結果。対象は京浜港～東日本地域間の輸送を対象とした。